

KSCウエルネスFCジュニア

保護者向けルール勉強会

レフェリーの名称と役割

- 主審(レフェリー)
競技規則を施行する一切の権限を持つ
- 副審(アシスタントレフェリー)
競技規則に従って試合をコントロールする主審を援助する
- 第4審判
選手交代やベンチの管理

レフェリーライセンス

4級審判員 → 審判の仮免許的な位置付けにあるライセンス。



3級審判員 → 4級審判員を取得した後に、規定の審判回数を行うと3級審判員の受験資格が得られる。



2級審判員



1級審判員



国際審判員

フェアプレーとは？

- ルールを正確に理解し、守る

フェアプレーの基本はルールをしっかりと知った上で、それを守ろうと努力することである。

- ルールの精神：安全・公平・喜び

ルールは、自分も他人もけがをしないで安全にプレーできること、両チーム、選手に公平であること、みんなが楽しくプレーできることを意図して作られているのである。

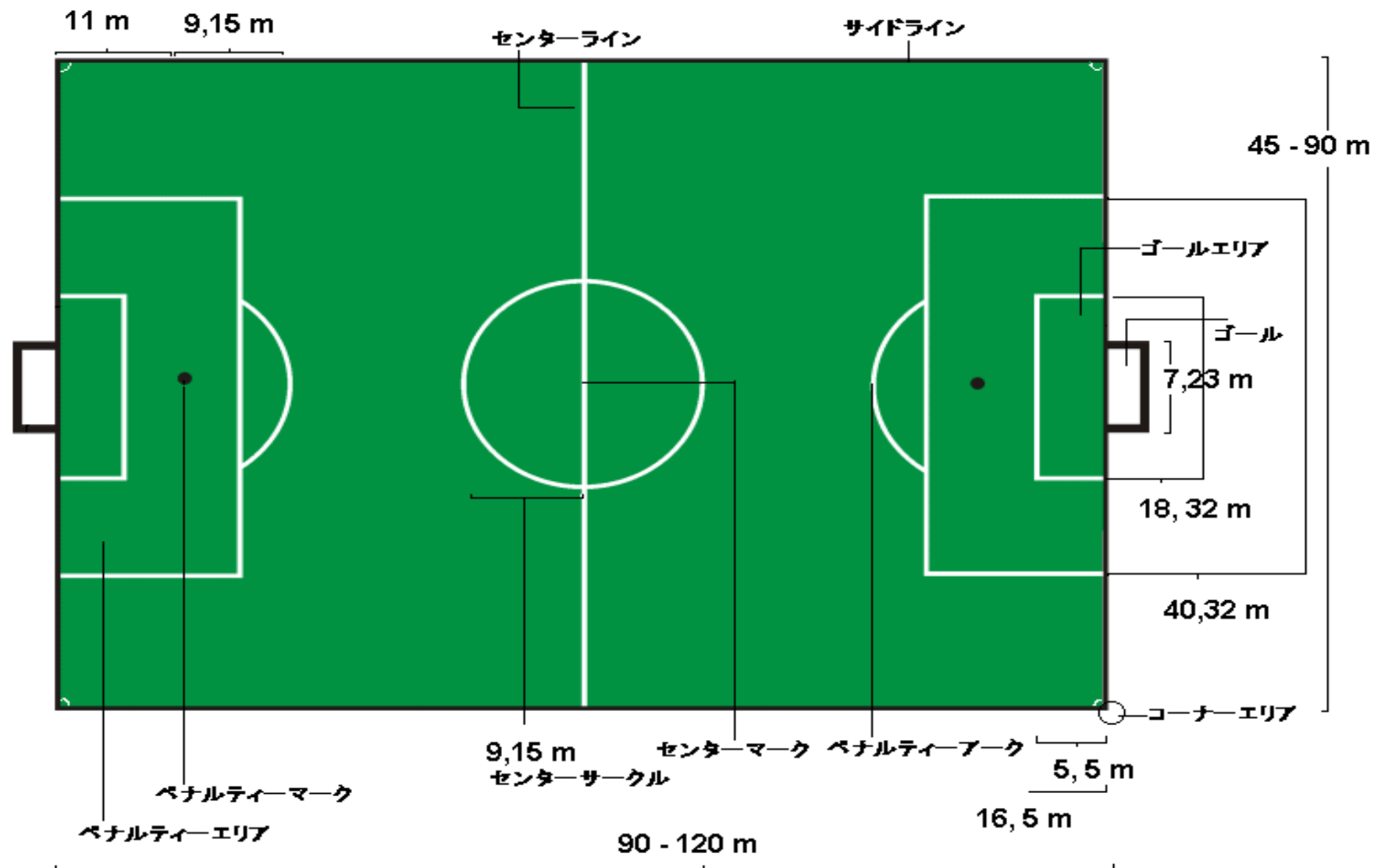
- レフェリーに敬意を払う

審判は両チームがルールに従って公平に競技ができるために頼んだ人である。人間である以上ミスもするだろうが、最終判断を任せた人なのだから、審判を信頼し、その判断を尊重しなければならない。

- 相手に敬意を払う

相手チームの選手は「敵」ではない。サッカーを楽しむ大切な「仲間」である。仲間にけがをさせるようなプレーは絶対にしてはならないことである。

サッカーのピッチ(大人サイズ)



ピッチの名称

●ラインの名称

ゴールライン⇒ゴールが置いてあるライン

ハーフウェイライン⇒ピッチを左右に分けている中央のライン

タッチライン⇒ボール出るとスローインになるライン

ペナルティエリアライン⇒ペナルティエリアを作ってライン

ゴールエリアライン⇒サッカーゴールが置いてあるライン

●サークル、アークの名称

センターサークル⇒ピッチ中央の円

ペナルティアーカーク⇒ペナルティエリアを結んでいる半円

コーナーアーカーク⇒コーナーキックを行うときにボールを置く半円

●マークの名称

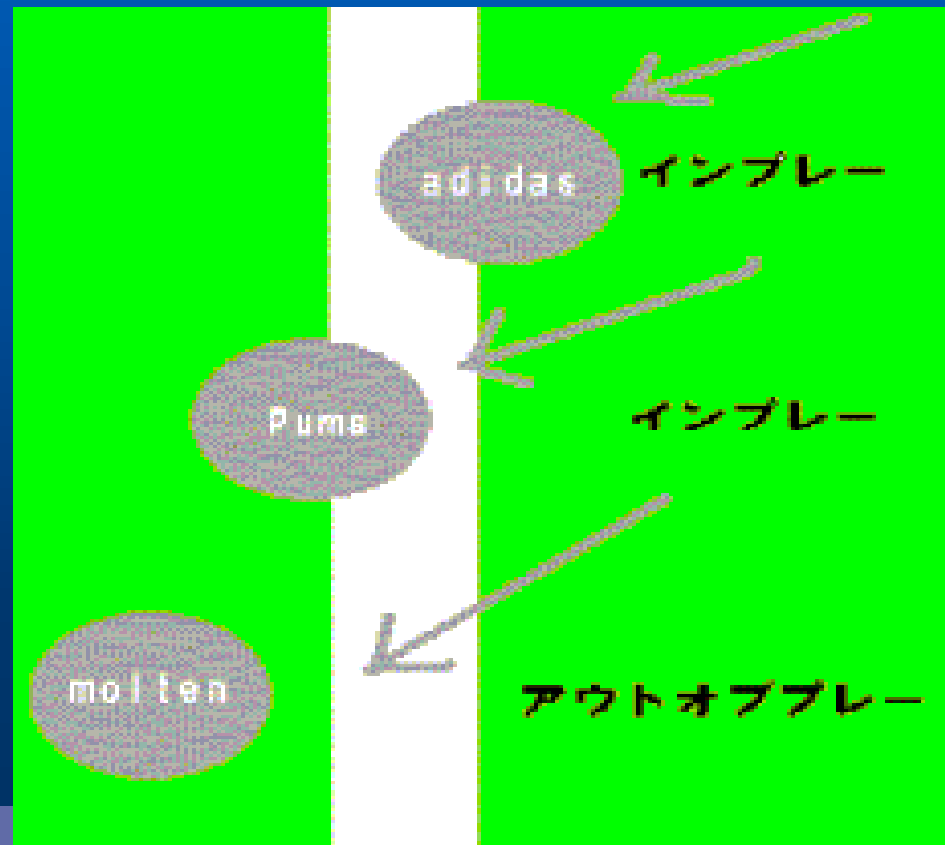
センターマーク⇒キックオフを行う中央のマーク

ペナルティマーク⇒ペナルティキックを行うマーク

ボールインプレーとアウトオブプレー

ピッチ外

ピッチ内



スローイン

- フィールドに面する。
- 両足ともその一部をタッチライン上またはタッチラインの外のグラウンドにつける。
- 両手でボールを持つ。
- 頭の後方から頭上を通してボールを投げる。
- ボールがフィールドから出た地点から投げる。
- タッチラインから、1M以内で行う。
- ボールがピッチに入らずに外に出たら、やり直しをする。
- ボールがピッチに入った後に外に出たら、相手チームのスローインを再開する。



直接フリーキックとなる反則

競技者が次の7項目の反則を不用意に、無謀にまたは過剰な力で犯したと主審が判断した場合、直接フリーキックが相手チームに与えられる。

- 相手競技者をける、またはけろうとする。
- 相手競技者をつまずかせる、またはつまずかせようとする。
- 相手競技者に飛びかかる。
- 相手競技者をチャージする。
- 相手競技者を打つ、または打とうとする。
- 相手競技者を押す。
- 相手競技者にタックルする。

次の3項目の反則を犯した場合も、直接フリーキックが相手チームに与えられる。

- 相手競技者を抑える。
- 相手競技者につばを吐く。
- ボールを意図的に手または腕で扱う(ゴールキーパーが自分のペナルティーエリア内にあるボールを扱う場合を除く)。

間接フリーキックとなる反則

ゴールキーパーの反則

- 自分のものとしたボールを放すまでに、手で6秒を超えてコントロールする。
- 自分のものとしたボールを手から放したのち、他の競技者が触れる前にそのボールに手で再び触れる。
- 味方競技者によって意図的にゴールキーパーにキックされたボールに手で触れる。
- 味方競技者によってスローインされたボールを直接受けて手で触れる。競技者が次のことを行ったと主審が判断した場合も、間接フリーキックが相手チームに与えられる。

フィールドプレイヤーの反則

- 危険な方法でプレーする。
- 相手競技者の進行を妨げる。
- ゴールキーパーがボールを手から放すのを妨げる。
- オフサイド

警告となる反則（イエロ-カード）

競技者は、次の7項目の反則を犯した場合、警告され、イエローカードを示される。

- 反スポーツ的行為
 - 言葉または行動による異議
 - 繰り返し競技規則に違反する
 - プレーの再開を遅らせる
 - コーナーキック、フリーキックまたはスローインでプレーが再開されるときに規定の距離を守らない
 - 主審の承認を得ず、フィールドに入る、または復帰する
 - 主審の承認を得ず、意図的にフィールドから離れる

退場となる反則(レッドカード)

競技者、交代要員または交代して退いた競技者は、次の7項目の反則を犯した場合、退場を命じられる。

- 著しく不正なファウルプレー
 - 乱暴な行為
 - 相手競技者またはその他の者につばを吐く
 - 意図的にボールを手で扱い、相手チームの得点または決定的な得点の機会を阻止する
- (自分のペナルティーエリア内でゴールキーパーが行ったものには適用しない)
- フリーキックまたはペナルティーキックとなる反則で、ゴールに向かっている相手競技者の決定的な得点の機会を阻止する
 - 攻撃的な、侮辱的な、または下品な発言や身振りをする
 - 同じ試合の中で二つ目の警告を受ける

オフサイドはどんな反則？

オフサイドは簡単に考えると待ち伏せ禁止！

●オフサイドポジションとは？

相手の後方から2人目の競技者の位置がオフサイドラインになり、オフサイドラインから、ゴールラインまでが、ポジションがオフサイドポジションになる。従ってオフサイドポジションは常に移動して行く。ボールがDFの選手より後方に移動した場合は、ボールの位置がオフサイドラインになる。

●オフサイドポジションにいるだけで反則になる？

オフサイドポジションにいるだけでは、オフサイドの反則にはならないプレーに積極的に関与した場合や干渉した場合、またはその位置にいる事により利益を得た場合に、オフサイドの反則になる。

●オフサイドとなる体の部分は？

手(腕以外の部分が判定の対象となる)

オフサイドが適用されないケース

●スローイン

スローインから投げ入れられたボールが、オフサイドポジションにいる選手に渡り、プレーが行なわれてもオフサイドの反則にはならない。

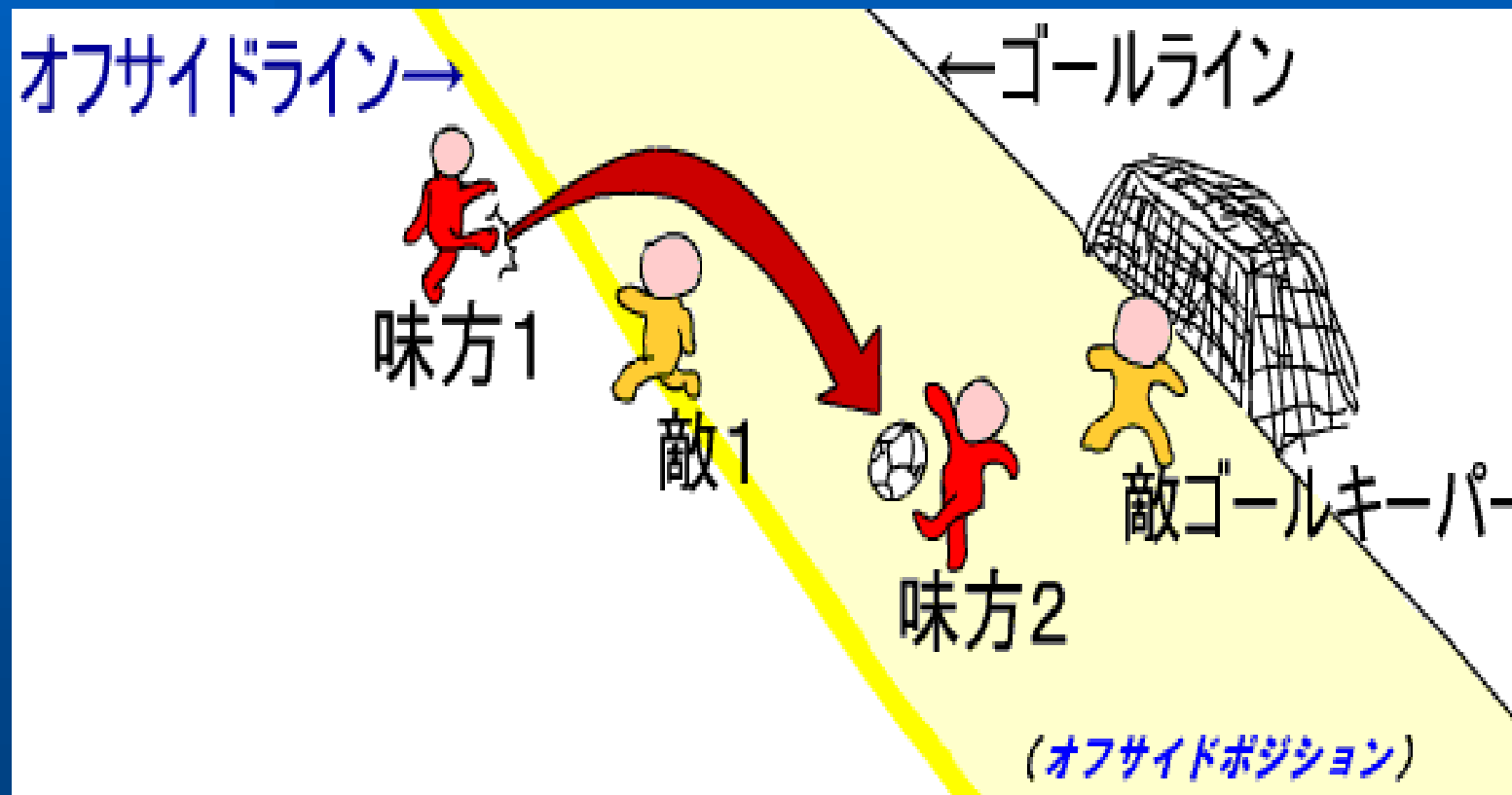
●コーナーキック

コーナーキックは、オフサイドにならない。ただしその後のプレーの流の中で中でオフサイドがあれば、オフサイドの反則が適用される。

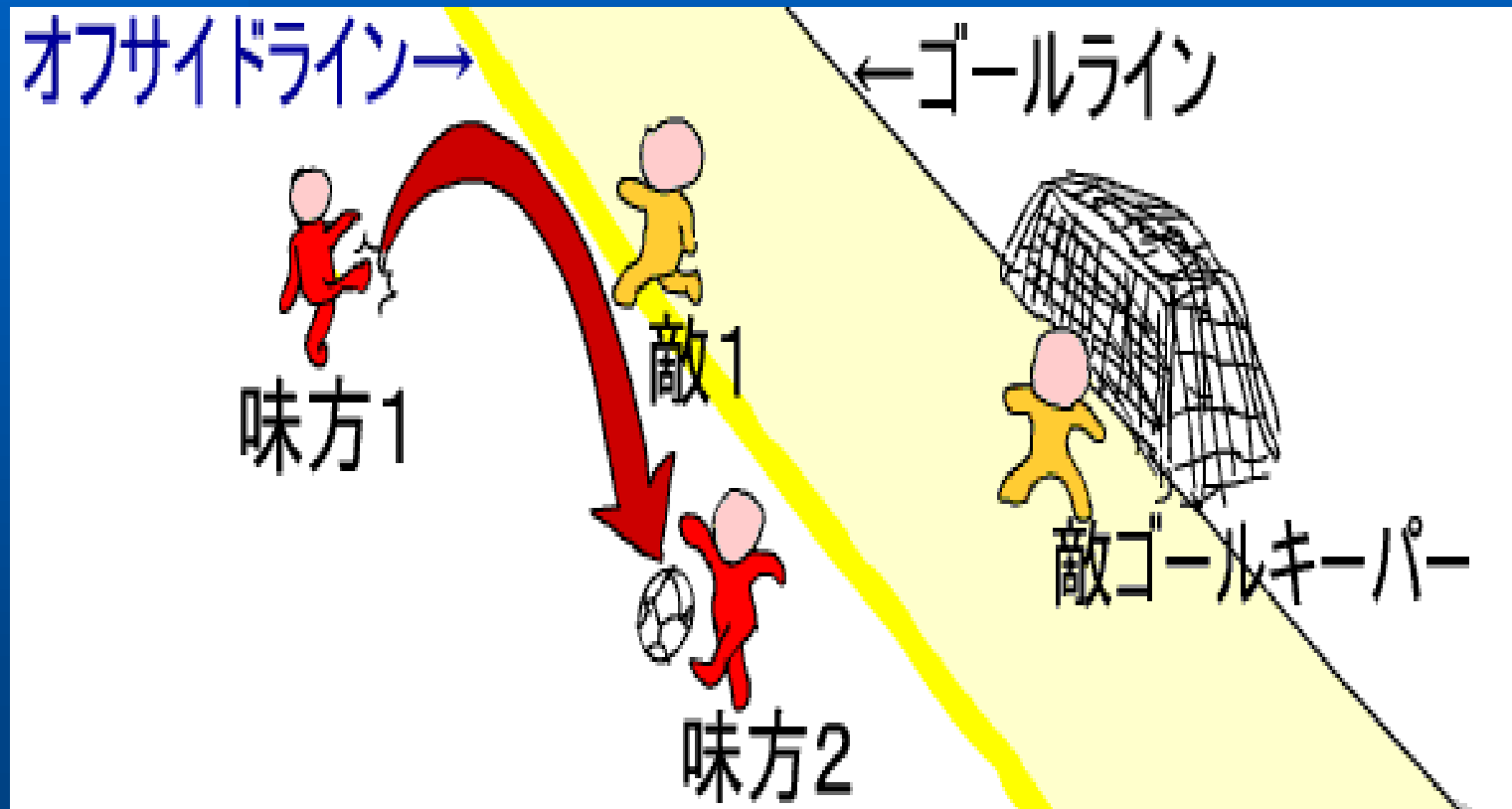
●ゴールキック

GKがボールを置いて蹴るゴールキックは、オフサイドの反則は適用されない。

よくあるオフサイドの例



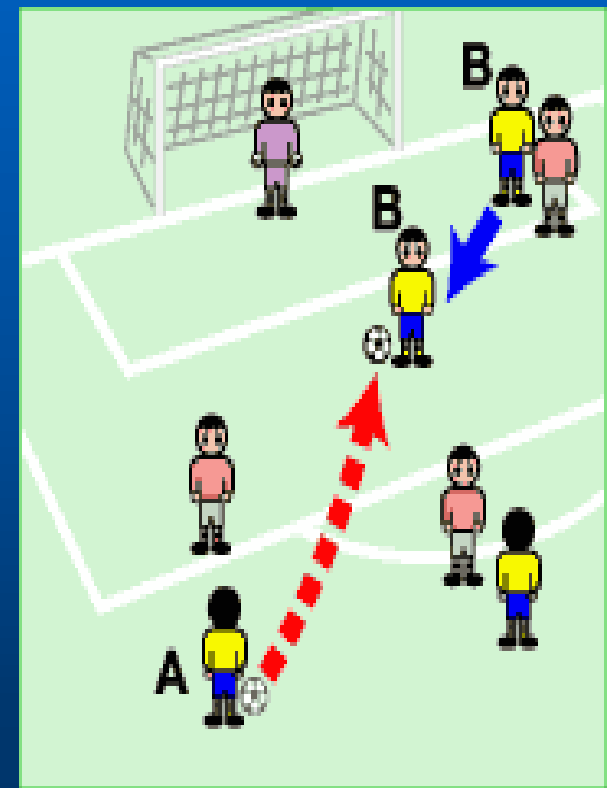
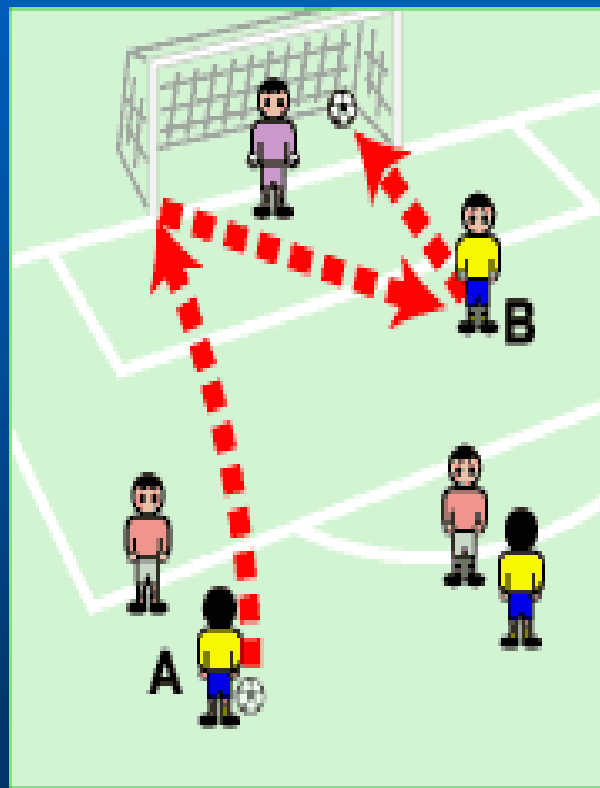
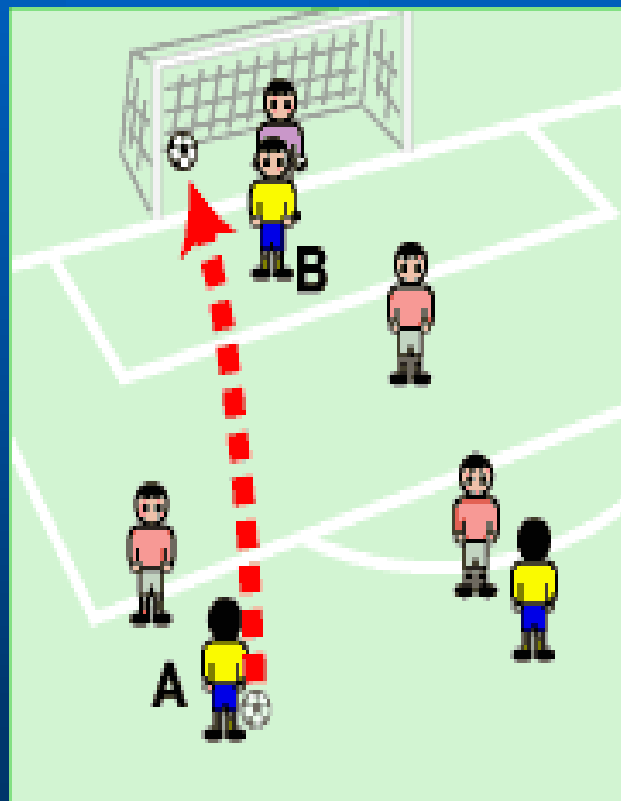
オフサイドにならない例



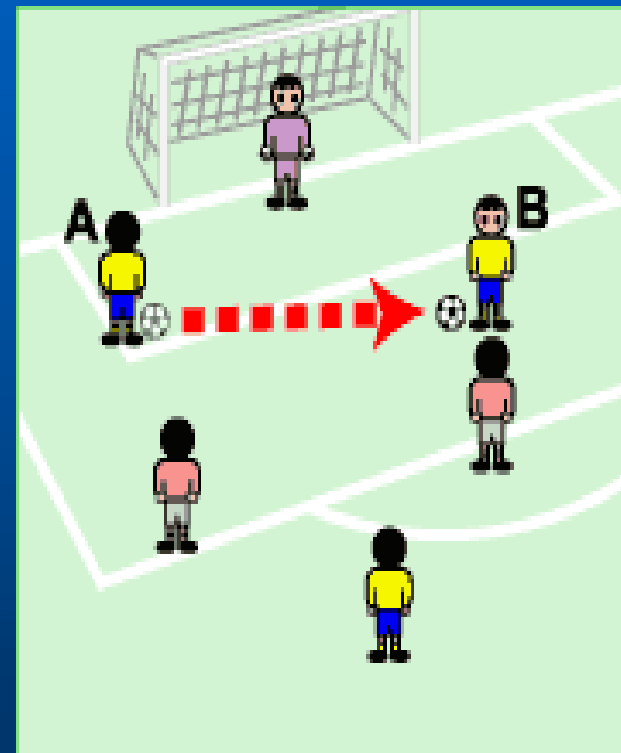
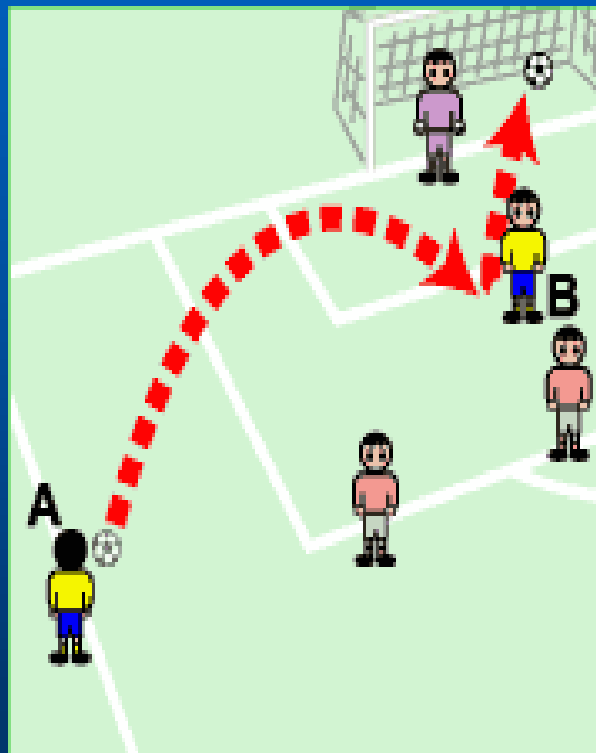
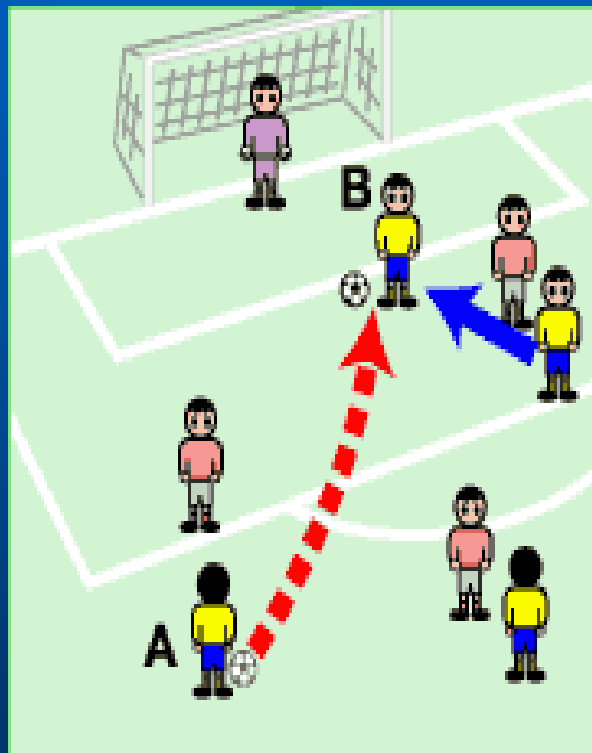
オフサイドポジション



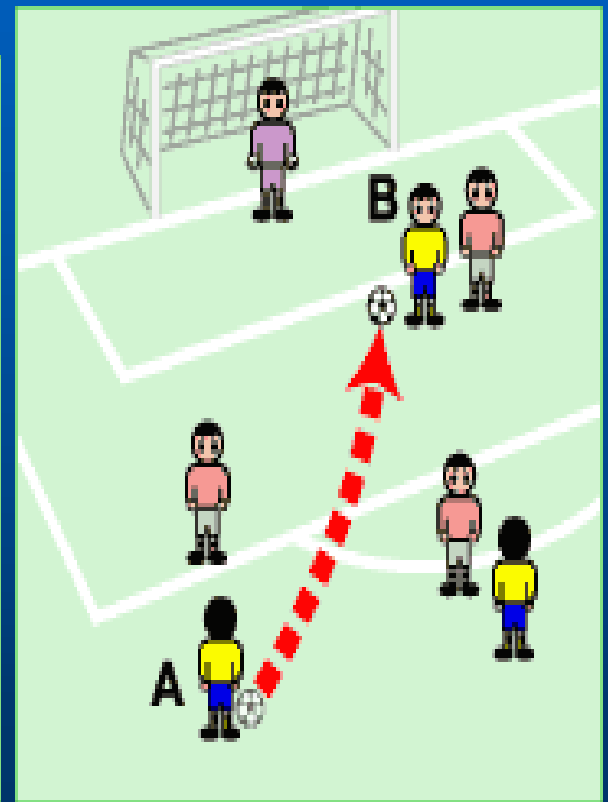
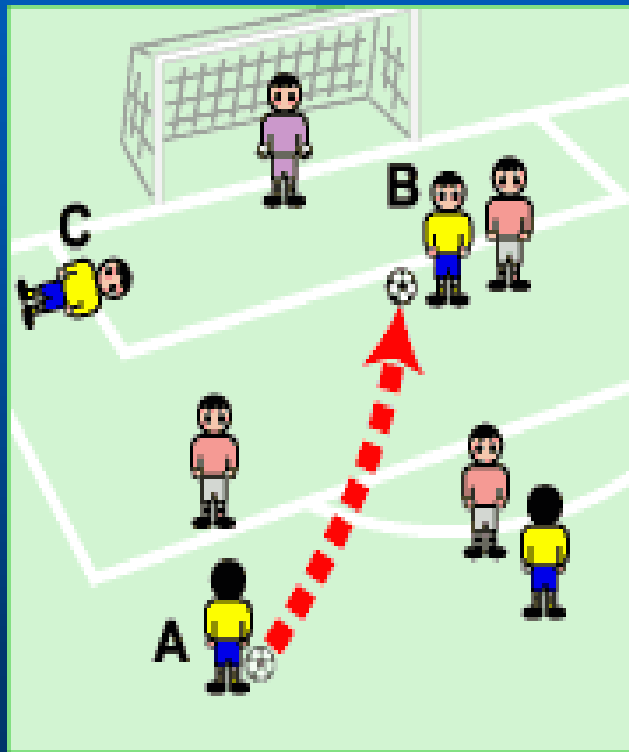
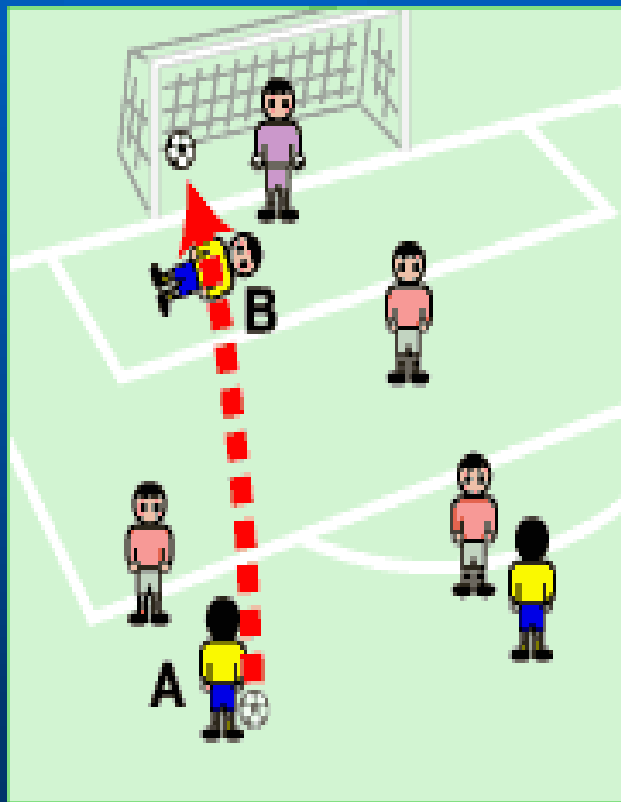
これはオフサイド？ その1



これはオフサイド？ その2



これはオフサイド？ その3



ルール豆知識

- サッカーの試合の成立する人数は？
- GKはいなくても良い？
- ユニフォームは何着必要？
- 装飾品はつけて良い？
- 味方選手を蹴ったら反則になる？
- 選手が交代を拒否した場合はどうなる？
- ボールが空中で木に当たったら？
- 試合中にボールがパンクしたら？
- ロスタイムは、何分までとれる？
- コーチは選手を殴っても大丈夫？
- ベンチの選手に警告を与えることはできる？